

I . 調查概要

全体概要

調査目的

調査事項

- (1) 次世代に向けたインターネットやSNSにおける北方領土問題の効果的な啓発活動に関する基礎的な手段や手法の把握及び現在北方対策本部で用いているイメージキャラクターをより社会へ認知させるための具体的な案の提示。
 - (2) 次世代が北方領土返還要求運動に参画するに当たり、参加促進を図るための環境整備として必要な諸条件の把握と具体的な案の提示。
 - (3) 北海道の意匠(マーク)に北方領土が記載されていない事例の調査。
 - (4) 北方領土問題に関心の薄い次世代層の中から公募の上 10 名程度を選抜し、その選抜された者に北方領土を視察させ、その視察によって得られた感想と北方領土返還運動を効果的に実施するための意見を聴取して今後の啓発活動に資する情報を集約の上、今後の啓発活動に資する要素を抽出した。
- 北方領土問題啓発活動のあり方を検討する基礎資料とするため、特に、20-30代の次世代層における啓発活動の展開方法の開発に資する情報を収集した。
 - ・ インターネット、SNSを活用した啓発活動を展開していくにあたり、参考となる事例を収集。
 - ・ 現在のイメージキャラクターをより社会へ認知させるための具体的な案を検討するための情報・意見を収集。
 - ・ 20-40代一般生活者における北方領土問題啓発活動への関心、阻害要因、参加・巻き込みの可能性に繋がる取組み方法を検討するために必要な情報を収集。
 - ・ 北方領土問題、啓発活動についての意見、阻害要因
 - ・ 啓発活動の方法案評価(有効性、参加難易度、利用/参加意向)
 - ・ 社会問題について、インターネット、SNSから情報発信することに対する意見
 - ・ 北海道を用いた意匠で、北方四島が記載されているかを確認し、北方領土がどのように一般企業で扱われ、情報として発信されているかを把握した。
 - ・ 次世代層における北方領土返還運動を効果的に実施する条件を探った。20-30代次世代層に実際に北方領土に接してもらうことにより、彼らの世代にあった啓発運動のあり方を検討するための情報・意見を収集した。

実施概要<業務フロー>

